



GE アディティブ、本田技術研究所 航空機エンジン R&D センターに航空宇宙の応用開発を加速する コンサルティングサービスを提供開始

【英国ファーンバラ/東京 2018 年 7 月 17 日】GE アディティブは本日、株式会社本田技術研究所 航空機エンジン R&D センター（以下、航空機エンジン R&D センター）と日本国内で初めてアディティブ製造に関するコンサルティング・サービス「AddWorks™」を提供する契約を締結したことを発表しました。この契約は、次世代の航空機エンジン開発に向け、航空機エンジン R&D グループにおける金属 3D プリンティングの導入から活用を含む、アディティブ製造技術の応用をさらに進めることを目的としています。

GE アディティブは、金属 3D プリンターや造形素材のほか、企業へのアディティブ製造技術の新規導入を加速するため、アディティブ製造のコンサルティング・サービス AddWorks™ も提供しています。AddWorks™ のコンサルタントは、アディティブ製造技術を応用することで製品コストやパフォーマンスなどが改善し、実際にお客さまのビジネスメリットになるかどうかを見極めるお手伝いをします。同コンサルティングチームの豊富な専門知識の根底には、CFM インターナショナル社^{※1}の航空機エンジン「LEAP」や GE アビエーションの高性能ターボプロップエンジン「GE Catalyst™」向けのアディティブ製の部品の開発から量産まで、アディティブ技術を社内で活用した経験があります。

航空業界における GE とホンダの協力関係は、すでに 10 年以上に及んでいます。GE アビエーションとホンダ・エアロ社は 2004 年に合弁で GE ホンダ・エアロ・エンジン社を設立し、両社はホンダジェット等の小型ビジネスジェット機搭載用の HF120 ジェットエンジンを開発しました。ホンダジェットは、2017 年の出荷数でこのカテゴリーのトップとなるなど、同エンジンは大きな成功を収めています。GE アディティブでは AddWorks™ コンサルティング・サービスを通じて両社の協力関係をさらに強固にするとともに、航空宇宙業界におけるアディティブ製造技術の応用をさらに広めていきたいと考えています。

GE アディティブ 日本統括責任者であるトーマス・パンは次のように述べています。「この度、本田技術研究所 航空機エンジン R&D センター様が、次世代の航空機エンジン開発のために弊社のアディティブ コンサルティング・サービスを選定していただきましたことを非常に嬉しく思います。当社は、自社の航空機エンジンパーツの設計、試作段階から量産まで多くの実績があり、このノウハウを提供できることを楽しみにしています。」

GE アディティブは、6 月より国内での事業の本格始動を発表し、世界全体で 2026 年までに 10,000 台のアディティブ装置の販売を目指す戦略のもと、2020 年までに 10 億ドル規模の事業に拡大していく計画の一翼を担っています。業界の有力調査会社の SmarTech Publishing によれば、世界のアディティブ製造市場への投資は今後 10 年で 2,800 億ドル以上に拡大すると見込まれています。GE アディティブは、航空宇宙、自動車、重工業をはじめとする主要産業を中心に、日本国内の企業に対して直販および国内の代理店を通じて金属 3D プリンターと造形素材の販売を行っています。

^{※1} CFM インターナショナルは GE と仏サフラン社が 50-50 で共同出資しているジョイント・ベンチャー

###

アディティブ製造について

アディティブ製造（付加造形、金属 3D プリンティング）は、その無限の可能性で世界の常識を変えています。すでに製造の現場にディスラプション（革命的な変化）をもたらし、設計や製造工程を加速させています。アディティブ製造技術は、より軽く、強く、効率の良い部品を作ることで製品のパフォーマンスと品質を高めます。CAD ソフトをベースに、素材を幾何学的形状に重ね上げ「付加」してモノを作り出す製造方法であり、通常の製造において素材を切削し、「除去」加工する工程とは真逆の発想です。アディティブ製造技術によって、商品化までの時間短縮、コスト削減、競争率の向上、CO2 排出削減等が実現します。

GE アディティブについて

[GE アディティブ](#)は、ビジネスに革命的な変化をもたらす先駆的なアディティブ製造技術において世界を牽引しています。最先端の金属 3D プリンター造形システム、質の高い造形素材、およびアディティブ製造における長年の知識と経験に基づくコンサルティング・サービスを総合的に提供し、企業が画期的な新製品を開発・製造するための支援をします。アディティブ製品は、企業の様々な設計や製造上の課題を解決し、ビジネスメリットをもたらし、ひいては世界をより良い方向に変えていきます。GE アディティブには、金属 3D 装置メーカーのコンセプトレーザ社およびアーカム社、素材プロバイダの AP&C 社が含まれます。

* GE の商標は 1 カ国もしくは複数の国で登録されている可能性があります。

本件に関するお問合せ先：

クレアブ株式会社 GE ジャパン広報担当：西川・恵木・渡辺

Email: GEJapan_PR@kreab.com

TEL: 03-5404-0640 FAX: 03-5404-7120